

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年6月10日更新

事務事業名		消防施設設置事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施策	15	防災対策の推進			所属課	安全安心課	担当者名	宮尾 和樹
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	防災対策班	(内線)	1242
予算科目		会計 一般	款 9	項 1	目 3	事業連番 10010	根拠 法令 要綱	消防法、合志市消防施設整備費補助金交付	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 5年度で終了	<input type="checkbox"/> 5年度から開始	事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度 ～ 年度)	18 年度

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市が整備する消防設備についての事務で、大別すると次の3つの項目になる。 ①開発行為に伴う、消防水利の協議及び開発に伴って設置した消防水利の検査事務 ②水道事業において設置する消火栓（基準水利）の打合せから設置、負担金支払い事務 ③各行政区が設置した、消防施設についての補助金交付事務
【業務の流れ】	・開発業者や設置業者への指示、検査 ・区に対する補助金の申請受付支払事務、実績報告に伴う確認検査
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 消防団発電機6台の更新を行った。消防施設の整備を行なった行政区について補助金を交付した。	新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・水道事業に併せ消火栓を設置する。・開発協議において防火水槽または消火栓の設置の指示を行う。・消防施設の整備を行なつた区について、補助金を交付する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア:防火水槽設置数 イ:消火栓設置数	(単位) 箇所 箇所
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・消防施設(消防水利、小型ポンプ、積載車、消防施設)	予算の主な増減の理由 令和6年度から10009消防施設維持管理事業に統合することによる減
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・未整備地区に設置する。	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:消防水利数 イ: ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:前年度より増加した消防水利数 イ:
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠 ・消防水利数の増加により、火災時の消火活動が早まる。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	箇所		3	7	3	0				
	イ	箇所		4	15	7	0				
② 対象指標	ア	箇所		887	893	900	0				
	イ	箇所									
③ 成果指標	ア	箇所		3	6	10	0				
	イ	箇所									
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円	235	235		235				
	(A)	事業費計	千円	13,407	7,960	10,263	9,126				
	(A)	うち指定経費	千円	3,844	3,969	4,000	3,997				
	(A)	うち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	3 270	2 70	4 290	2 220				
	(B)	人件費計	千円	1,055	266	1,155	801				
トータルコスト(A)+(B)			千円	14,462	8,226	11,418	9,927				

事務事業名	消防施設設置事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 要望のあった地区へ適正に補助金の交付を行った。また開発や水道事業で計画どおりに消防施設の整備を行えた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 市施工では老朽化した民地の防火水槽を数基撤去予定だが、開発行為の増加に伴い、防火水槽および消火栓の新設が想定されているため、達成見込みである。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 防災計画書にある「消防施設強化促進計画」に基づき進めており、消防水利の未整備地区に、計画的に水利を設置していくことで、向上の余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 令和6年度統合	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 消防水利については、計画に基づき事業を進めており、削減の余地はない。 ・消防積載車及び小型ポンプについても、計画的に更新しており削減の余地はない。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 整備については知識を必要とするため委託等はできないので削減余地はない	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 消防水利は市全域にわたり、法に基づき未整備地区を整備していくもので、公平である。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 【前年度内容】消防施設の設置・管理を行う事は市の責務であり適正である。	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】

3 評価結果の総括 (C H E C K)

計画内容どおり事業を行うことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成 果	向 上	コ 斯 ト		
		削 減	維 持	増 加
成 果	向 上			
維 持				
低 下				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策